

麻生区区民会議 第8回安全・安心のまちづくり部会 議事要旨

1 開催日時：平成25年5月14日（火）午後3時00分～午後5時20分

2 開催場所：麻生区役所第4会議室

3 出席者：[安全・安心のまちづくり部会委員]

村主委員、高倉委員、田中委員、吉田委員、横山委員

（加賀美委員、梶委員、久保倉委員、高瀬委員、長谷川委員は欠席）

[危機管理担当]

山田担当課長、橋担当係長

[事務局]

鈴木企画課課長、白石担当係長、佐伯、小田

4 傍聴者：なし

5 参考映像の確認

① 防災ライブラリー「我が家の危機管理」第1巻 （資料1-3）

② サット119の紹介VTR （資料1-4）

③ 田中委員のマンションにおけるサット119の設置状況

【主な意見】

- ・ 既存の防災DVDを活用しPRしながらモデル事業を展開したらいい
- ・ サット119については、商品のPRともなるため、モデル事業に盛り込むかどうかは今後検討した上で対応したい（状況に応じて紹介することは可能）

6 議事

(1) 調査審議課題の具体的検討について

① モデル事業について

（モデル事業の実施に向けて）

【説明事項】

事務局より資料1-1・1-2について説明。区内自主防災組織の役員会が5/22(水)に開催されるため、モデル事業対象地区の募集内容・スケジュール等を整理しておく必要がある。資料1-2は役員会への説明資料（たたき台）。タウン誌等での公募も視野に入れて作成。資料1-1の各項目については、部会長から説明。

- ・ 各世帯の間取り・住まい方の現状、住まい手の考えなども把握し、防災対策に向けた提案を行い、具体的な対応を行う
- ・ 家具の転倒防止だけでなく、家屋の倒壊防止、火災予防等の対策も含めて、総

合的に安全性の向上を目指す

- ・ 5月10日に部会長・副部会長が明治大学の園田教授に事業への指導をお願いし了解を得ている
- ・ 人力としてゼミの学生の参加も了承を得ている（研究資料としても活用してもらい、防災対策のアイデアなどを提案してもらう）
- ・ 家具の固定などの施工については、園田教授から紹介のあった業者に相談し、協力してくれる施工業者を探すことが可能
- ・ 協力世帯には予め各家庭への立ち入り、家具転倒防止器具の取り付け、写真撮影、事前事後のアンケートへの承諾・同意を取り付けておくことが必要

【主な意見】

- ・ モデル事業のイメージを丁寧に整理しておくことが必要
- ・ 既存の防災DVDを見てもらいながら、一軒一軒への訪問と事業内容の確認・説明を行う（各戸の状況に合わせた対応が重要）
- ・ 家具の固定については様々な固定方法を取らざるを得ない（色々なケースに合わせて固定方法を提案して紹介）
- ・ 人を派遣して家具を固定することに対して各戸で了承を得ることが大切（了承を得られない場合には、モデル事業の内容を変更して対応する方向も検討）
- ・ やる気を尊重したモデル対象地区の選定が良いのでは（応募があるかどうかは現時点では分からないが、公募することが重要）
- ・ 個別対応を中心とするPRビデオでは防災対策の波及効果を望めるのか、やる気のある人を中心として活動全体をPRしていくことが大切
- ・ 公助から自助と小地域での共助へのシフトが重要であり、地域コミュニティにも重きを置く対応が必要
- ・ 家具の転倒防止対応は自助対応を中心としたアプローチである

（モデル事業対象地区の公募について）

【説明事項】

危機管理担当から説明。自主防災組織役員会への説明は10分以内に纏めてほしい。役員会で説明し了承を得られれば、各自主防災組織への案内発送となる。特に求められなければ、総会での説明は必要ないとする。

【主な意見】

- ・ 自主防災組織への説明はモデル事業対象地区の公募のための広報として考える
- ・ 地区の選定については建物の状況も含めて検討すべき
- ・ 自主防災組織に依頼して、モデル事業地区を選ぶことは難しい（グループを選定してもらうことは難しい）
- ・ 自主防災組織への説明は、募集案内の回覧のお願いと情報提供として、10戸程度集まったら、直接区民会議に連絡してもらう方がいい
- ・ 班単位などの小単位で集約するスタイルが望ましい（班長が取りまとめ、応募してもらうスタイルがいい）

- ・ やる気につながる内容の案内とする（無料施工・専門家のアドバイスを受けられるなど）
- ・ 耐震診断や耐震補強などに関する情報提供・アドバイスも含める
- ・ 火災予防については、訪問住戸の状況に合わせて対応する（情報提供など）

【決定事項】

- ・ モデル事業公募のアプローチの一つとして自主防災組織への働きかけを進める（5/22の役員会で説明、案内文は再検討する）
- ・ 委員のつながりも活用して、モデル事業対象地区を選ぶ
- ・ 家具の転倒防止だけでなく、家屋の耐震診断・補強、火災予防に関する情報提供も含め、トータルで防災の安全性向上につなげる

② 全体会議資料について

（調査審議状況（案）について）

【説明】 事務局から資料2-1について説明。田中委員からの指摘箇所を修正。

【決定事項】

- ・ 最新の被害予測結果を受けて、死者数の変更を検討する
- ・ モデル事業の「家具の転倒防止対策を最優先」という表現は、耐震・火災予防なども含めトータルの防災性を向上させるイメージに再検討する
- ・ 文章内の表現を若干修正して、全体会議にて報告する

③ 区民会議フォーラムについて

（フォーラムの内容について）

【説明事項】

部会長より、資料3-1について説明。明治大学の園田教授にはフォーラムでの講演について打診はしていないが、了承を得られるだろう。目黒教授については了承を得られるように、人的ネットワークを生かしたアプローチを進めている。パネルディスカッションをフォーラムに盛り込むかなどは検討中。今後、協議して決定したい。

【決定事項】

- ・ 第1回区民会議フォーラムは9/7（土）を予定（予備日9/8）
- ・ 5/20の全体会議で提案し、開催を決定する
- ・ フォーラムの内容・スケジュールについては今後さらに審議して決定する

(2) その他

今後の会議日程

全体会議：5月20日（月）、自主防災組織役員会：5月22日（水）
第9回安全・安心のまちづくり部会：6月11日（火）

以上